

令和2年1月26日(日) 日本を美しくする会

第275回 益田掃除に学ぶ会 お掃除通信

開催場所 吉田南小学校 校長 村上 護
参加者数 9名 教頭 江角 貴行

1、代表世話人挨拶 山崎純
今年最初の掃除に学ぶ会ですが、人数が少なく寂しい感も
ありますが、今年一年いい掃除に学ぶ会をやっていきたくいと
思いますので、皆さんのご協力をよろしくお願いします。
300回までのカウントダウンも始まっております
毎回のようにお話しておりますが、明日子供さんが来られて
「トイレがきれいになったね」と喜んで頂けるように
今日も綺麗にしましょう
2、体験感想発表
・佐々木 仁資さん(萩市)
今年の初めに鳥取掃除に学ぶ会の方から電話を頂き
昨年を以って締められることをお聞きしました。でも益田は
山崎さんが300回までは続けるかと仰っておられますので
300回まではお付き合いをしていきたいと思えます
今日は男子トイレが終わって、隣の女子トイレにいきこ所
掃除をしました。時間的にも中途半端になって気持ち的に
もやもやした気分です。スッキリしませんでした
・森 直雄さん(キューサイファーム島根)
今日は男子の大便器を担当しましたが、意外ときれいで
周りの備品特に光るものを中心に磨きました。そして終わって
隣の女子トイレを掃除しましたが床にトイレペーパーが
貼りついていて大変でした。佐々木さんが仰ったように
時間的なこともあり中途半端な感じで終わったことが残念です
・岡本 界太さん(浜田市・キヌヤ)
男子の大便器を担当しましたが意外ときれいでした
床の材質が悪くて、特に排水溝付近が破れていて汚く
掃除もしにくくて何とかして頂きたいものです

2、体験感想発表
・福元 正敏さん(浜田市・しまや)
今日は参加者が少なくてちょっとさみしい感じがします
やっぱり新しい人がいないと、新鮮味もなく盛り上がりませんね
浜田も少ない人数でやっていて同じなんですけど、少しでも
新しい方を誘っていきたくと考えています。そうしていかないと段々
どこの地区の会も しぼまっていくような気がします
・山崎 純さん(益田市・キヌヤ)
今日は先々回の中西小学校、先回の吉田小学校に続いてスリッパを
掃除しました。中西、吉田、吉田南と段々汚れがひどくなって、特に裏は
汚れがひどくて大変です。こんな汚れたスリッパを履く子供さんですが
せつかくきれいにしたトイレにも問題です。こうして生徒さん達が気付かない
ところを我々が気付いてきれいにしなればいけないことを感じます
本来の目的である見えないところをきれいにすることが大切ですね
・青木 邦江さん(益田市)
掃除の会に参加させて頂いてますが、なんだか自分が慣れっこになって
何も学ばないで帰っていくような気がして、もう一度原点に戻って
学び直さなければいけないと反省しています
・岡崎より
仁資さんから森さんからもありましたが、男子トイレを終わって隣の
女子トイレを掃除をされたんですが、時間の関係で中途半端に
なってしまったとお話が有りましたが、完全にはできませんでしたが
速く汚れていた汚物入れ、また床の清掃、トイレペーパーの
三角折等で明日子供さん達は綺麗になったことを気付いてくれると思えます
・日本を美しくする会 専務理事の千種さんからのご案内
トルコ、チェコ、ルーマニアの掃除研修について(詳細はメールにて)
日程3月28日～4月9日の13日間

4、鎌山秀三郎相談役 一日一話より抜粋
垂面自乾
やくざに監禁されて上、日本刀を突き付けられて、脅かされたこともあります。顔に唾を浴びせられ
ののしられたこともあります。そんなときに、自分自身に言い聞かせられた言葉が「垂面自乾」という
中国の言葉です。たとえ顔に唾を吐きかけられたとしても拭わずに、自然に乾くまで耐えようという教えです。
わたしは、この言葉によってずいぶん救われました。
複写はがき
複写はがきを書くとき、こころがけていることを三つだけ紹介します
1)たとえ下手な字であってもつづげ字にせず、一字一字丁寧に楷書で書く
2)表書きの住所、氏名は筆字で書く
3)郵便番号はボールペンで書く 複写はがきは掃除と同じように続けてきました
5、森信三先生の教え 一語千鈞より
生き方の基本
しつけの三大原則
1)朝の挨拶をする子に……それは必ず親の方から誘い水をだす
2)「はい」とはっきり返事のできる子に……それには母親が、主人に呼ばれたら「はい」と返事すること
3)席を立つたら必ず椅子を入れ、履き物を脱いだら必ず揃える子に
相手の心に受け入れ態勢ができていないのに、お説教するのはフサツタコツに
ビールをつぐようなもの。入らぬばかりか返ってあたりが汚れる
6・平澤 興先生語録より
生きよう今日も喜んで
・老、生まれるのも自然な力なら、老いてゆくのも自然なはたらきであり、人間は人間の工夫だけで生きてゆくのでは
ない。幼年、少年、壮年と変化を経ながら人は老いてゆく。自然の力で生まれてきたものが、大自然の原素の
姿に向かって帰ってゆくのである。大自然の側から見れば、大変面白いものである。
・病とは、無理が有っておこる故障である。治療、修繕のできる病気でなければ、故障即ち死と言うことになって大変である
そうでなくて、故障の軽い中に病気に気が付き、治療のチャンスが与えられることはむしろありがたいことではないか